

平和に向かって

沖縄県立沖縄高等特別支援学校二年

喜屋武 盛道

私は戦争をしてはいけないと思います。なぜなら、戦争は人の尊い命を奪ってしま
うからです。

私は校外学習で平和祈念資料館に行き、講話を受けました。その時に手榴弾や爆弾
を見せられて、これが人を傷つけるものだと分かり、戦争はとても恐い事なんだと
いう事を実感しました。その他にも展示室の中にあるガマでガマに隠れている家族や
青酸カリという毒をミルクに混ぜている衛生兵を見ました。なぜ毒を混ぜたかとい
うと、足が動かない兵隊の命を奪って、自分達は逃げるためです。これを見て戦争は人
間を人間でなくしてしまうと思いました。

一九四五年三月二十六日に、アメリカ軍が沖縄の慶良間列島に上陸し、沖縄戦が始
まりました。その時、私のおじいさんはまだ小さい子供だったので、とても怖い思
いをした事と思います。この戦争で日本軍とアメリカ軍を含む約二十万人の人が亡くな
りました。私のひいおじいさんも兵隊として沖縄戦に行つて亡くなっているのです、私
はひいおじいさんの顔を見た事はありません。

日本が真珠湾を攻撃していなかったら、戦争にもならず、こんなに多くの犠牲者を
出さなかったんだろうと思いました。

日本が戦争をしないようにするために、アメリカと交渉してみたり、別の方法を探
せば良かったのにも思いました。

また宮古や八重山は地上戦には至らなかったけれども、食糧不足による栄養失調や
マラリアにかかって、数千人の人が亡くなったと言う事を沖縄平和アーカイブで知っ
た時はとても悲しかったし、もう二度と戦争をしないでほしいと思いました。

平和とは争いがなく、簡単に人の命を奪わず、命を大切にしていこうと思
います。沖縄の方言で「命どう宝」と言う言葉がありますが「命は大切な宝だから粗末に扱
うな」という大事な教えだと私は感じたので、まずは友達と仲よくしていこうと思
いました。今も内戦やテロが起こっていて、この前も、スリランカで爆破テロがあり、三
百人が死亡し、その中には日本人もいました。今もまだ世界では争いが続いており、
世界的な平和にはまだまだ程遠い状況と言う事が言えると思います。

世界が平和になるのは、いつになるのか分かりませんが、平和に向かっ
てどうすればいいのか考えてみました。自分の意見だけではなく、相手の意見を聞き入
れてみたり、なぜ争いをしているのか等の情報を新聞やパソコンなどで調べ、なぜ
そうなるのかをみんなで考えることがとても大事だと思います。